

第22期考古学セミナー（2020年度）

－水木田遺跡と縄文時代中期前半の山形－

第1回講座

講義②

庄内地方の縄文時代中期前半について

(公財)山形県埋蔵文化財センター

須賀井 新人 氏

令和2年9月27日（日）

会場 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館

第22期考古学セミナー

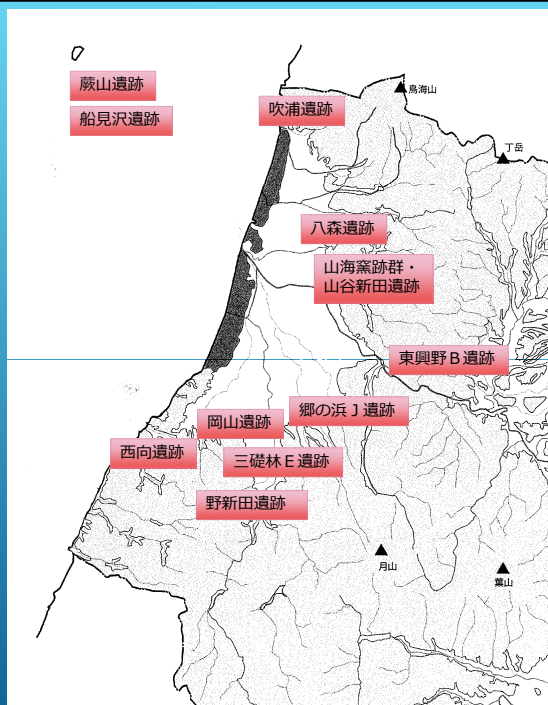
庄内地域の 縄文時代中期前半について

公益財団法人山形県埋蔵文化財センター
須賀井新人 令和2年9月27日

庄内地域の縄文時代中期前半 の主な遺跡

中期前葉の大木式土器は、隣接諸地域（北東北や関東）からの影響を強く受けていた。

山形県内陸部では関東地方からの流入量が多いが、庄内地域は北陸方面からの影響が顕著である。



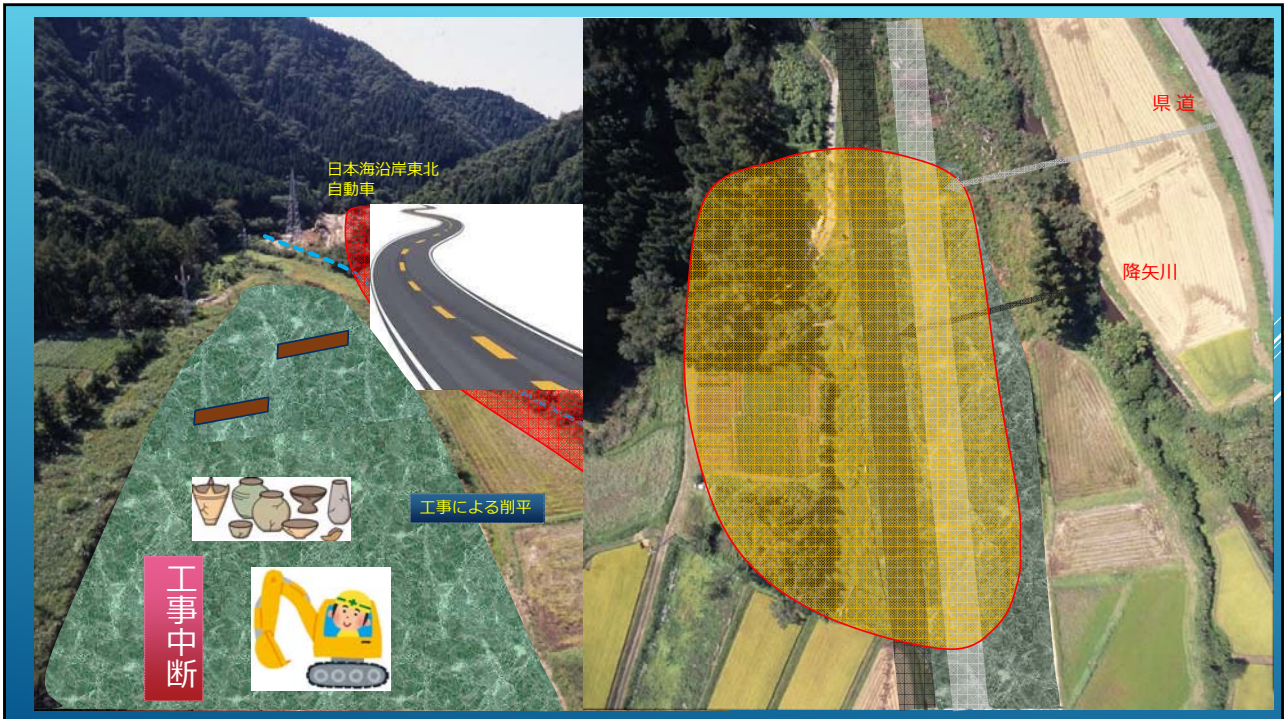


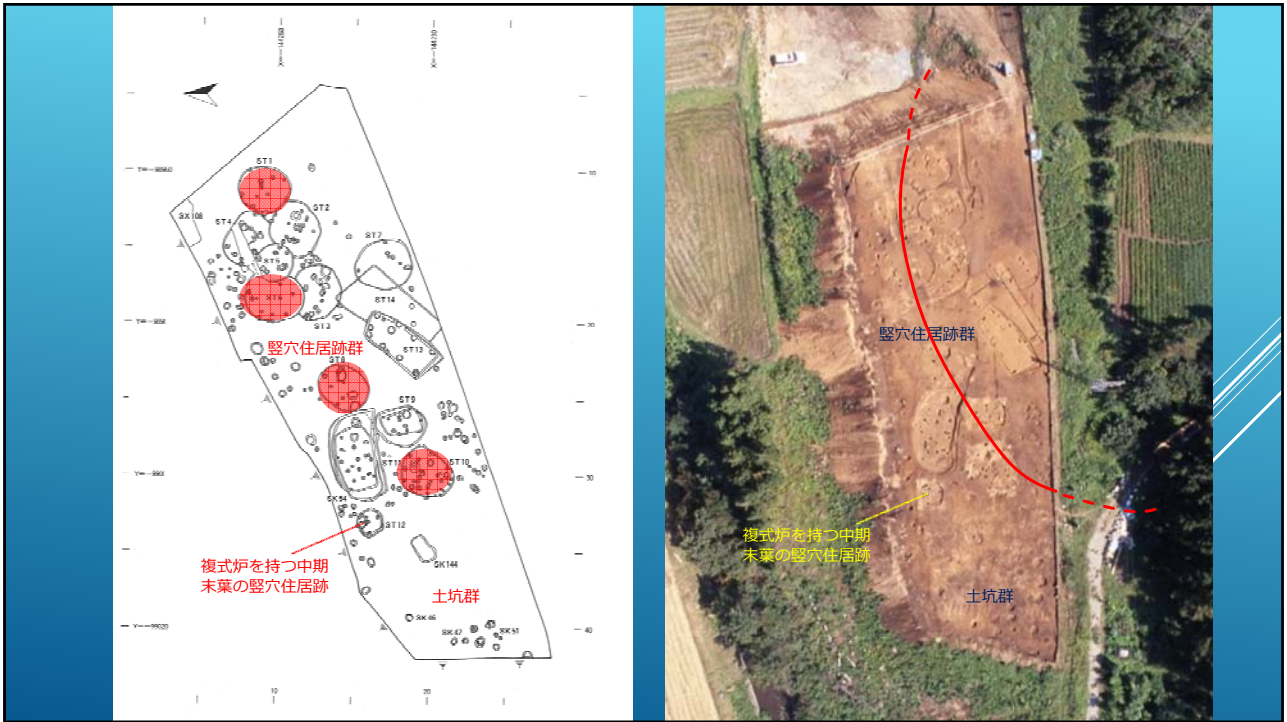
遺跡近景

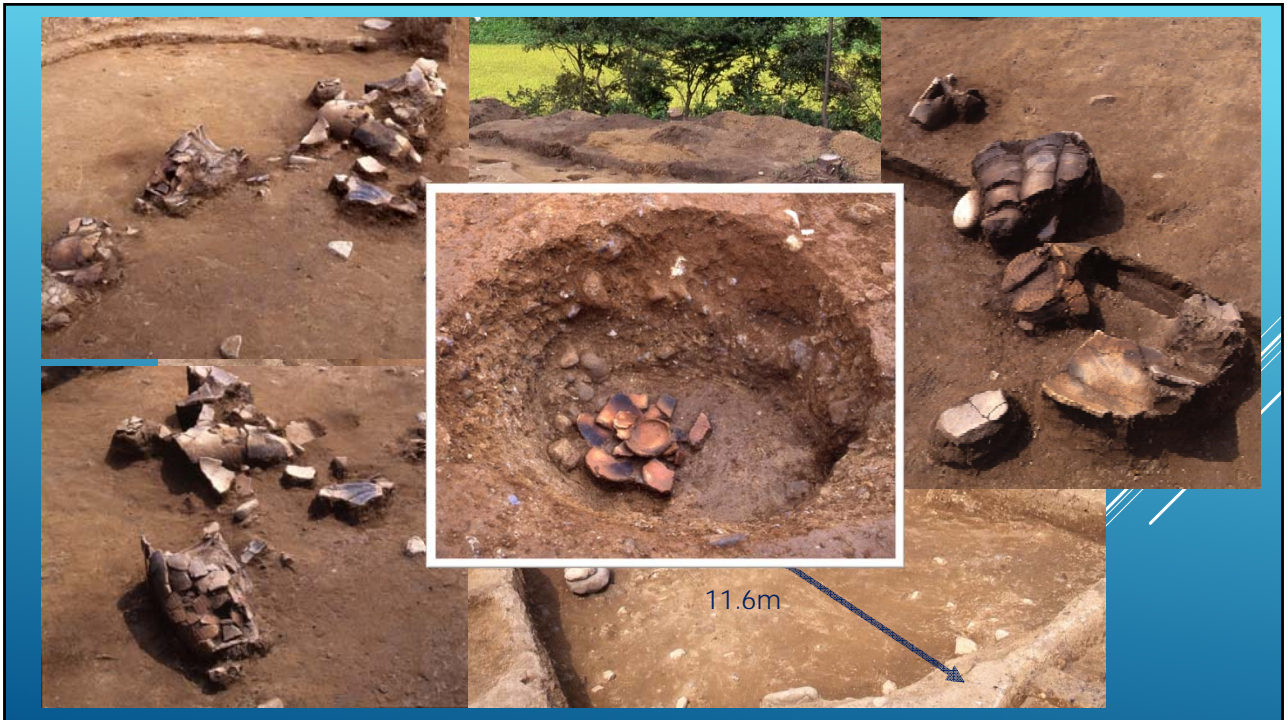
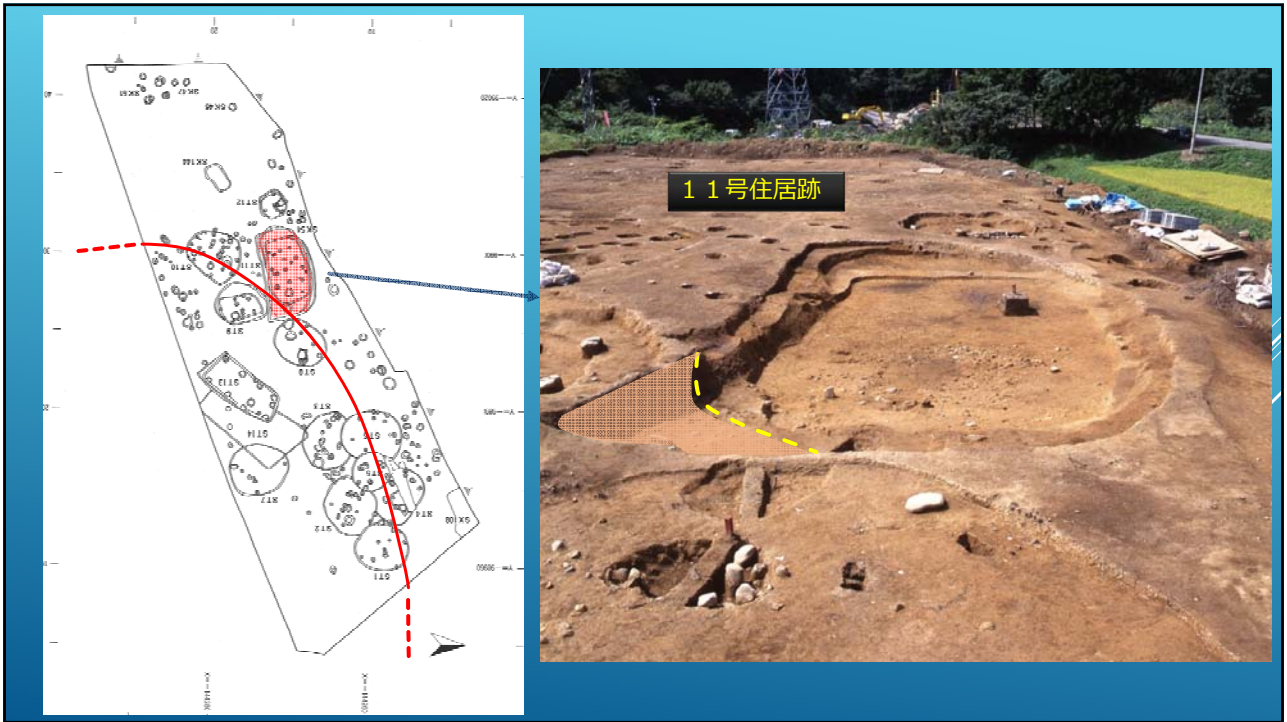
- ・ 県道と二級河川の移設工事中に不時発見された遺跡
- ・ 県庄内総合支庁からの委託により、平成14年に緊急発掘調査

西向遺跡











西向遺跡出土土器の構成

在地の土器 ⇒ 24%

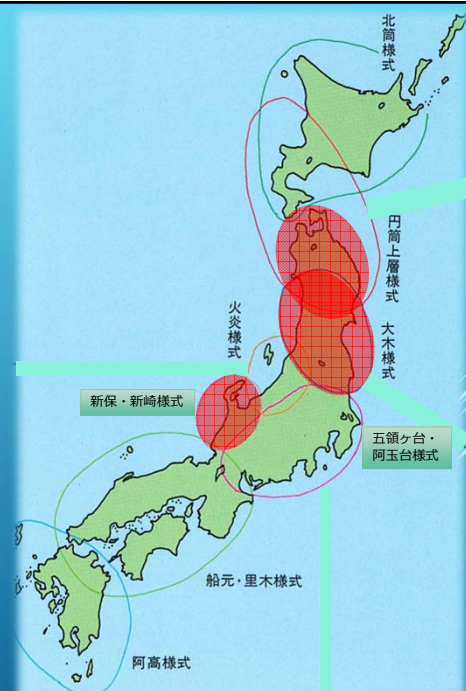
(大木式土器)

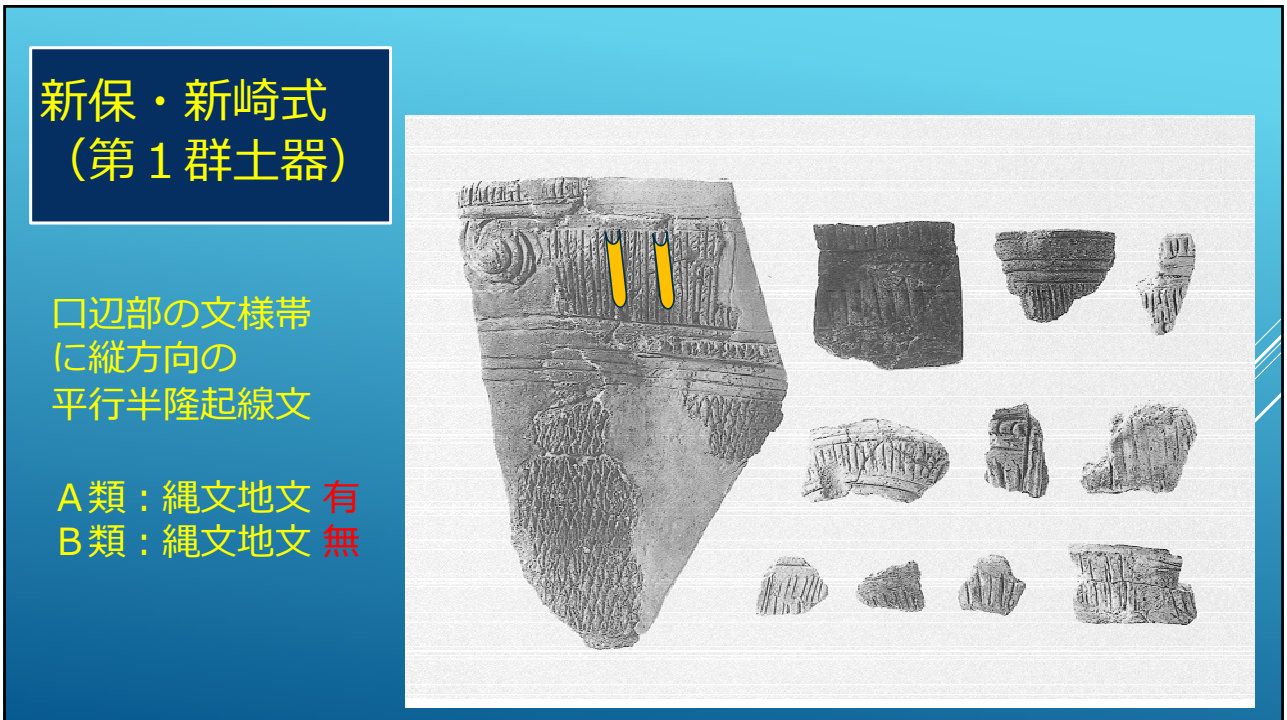
北東北の土器 ⇒ 3%

(円筒上層式土器)

北陸地方の土器 ⇒ 73%

(新保・新崎式土器)





新保・新崎式
(第2群土器)

口辺部が横位無文
帯のみ



30



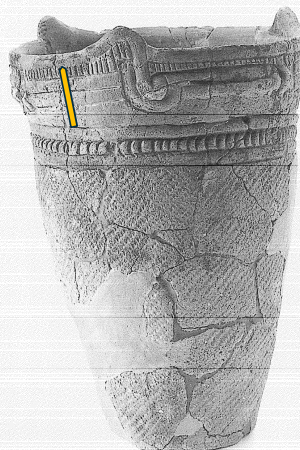
39

新保・新崎式
(第3群土器)

口縁部に細線文
(口辺部文様帯内
は無文)



21

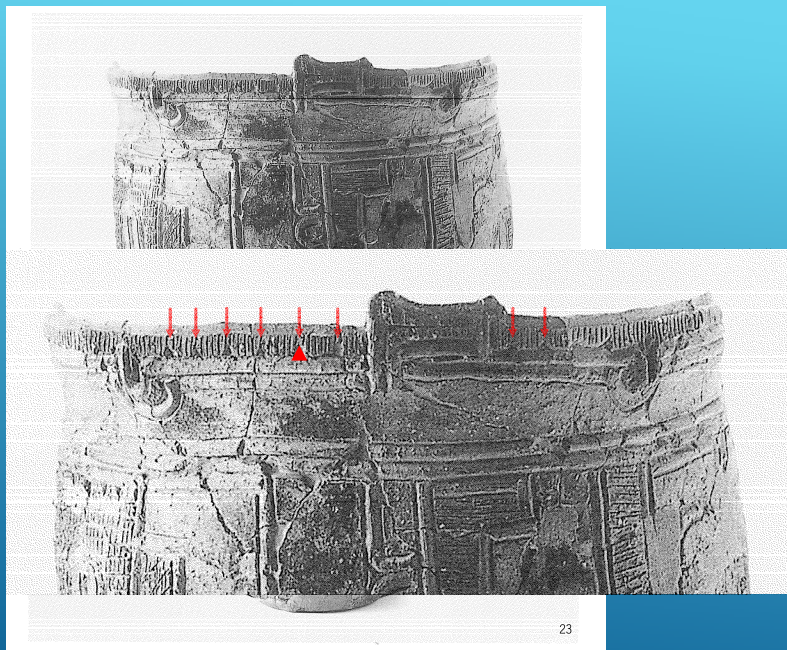


22

新保・新崎式
(第3群土器)

口縁部に細線文
(口辺部文様帯内
は無文)

三角形の印刻
⇒ 蓮華状文



新保・新崎式
(第4群土器)

口辺部文様帯に
縄文地文が残る



新保・新崎式 (第5・6群)

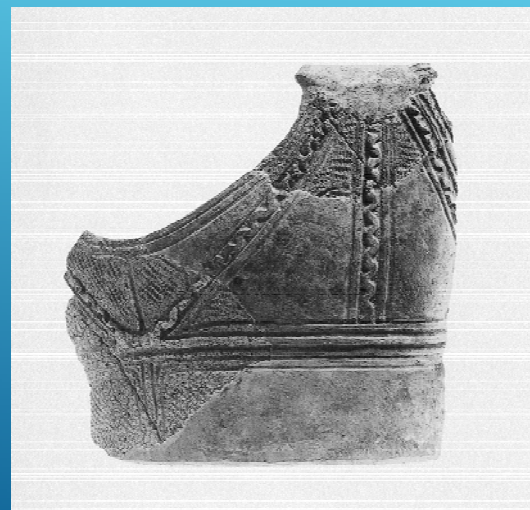
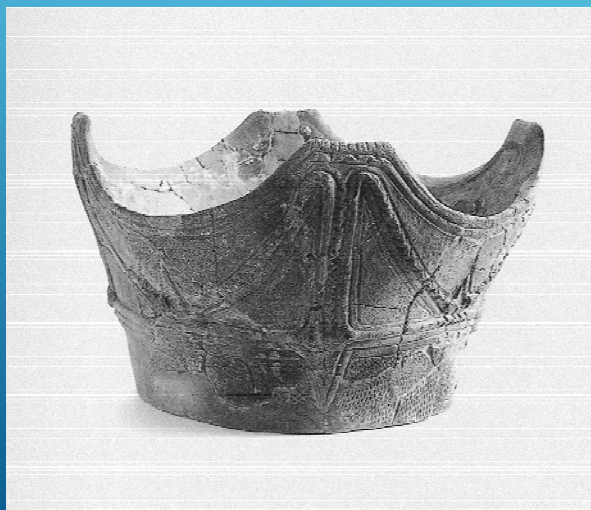
口辺部に半隆起線
+ 爪形文のみ

口縁部や胴部に
格子目文



大木7式土器

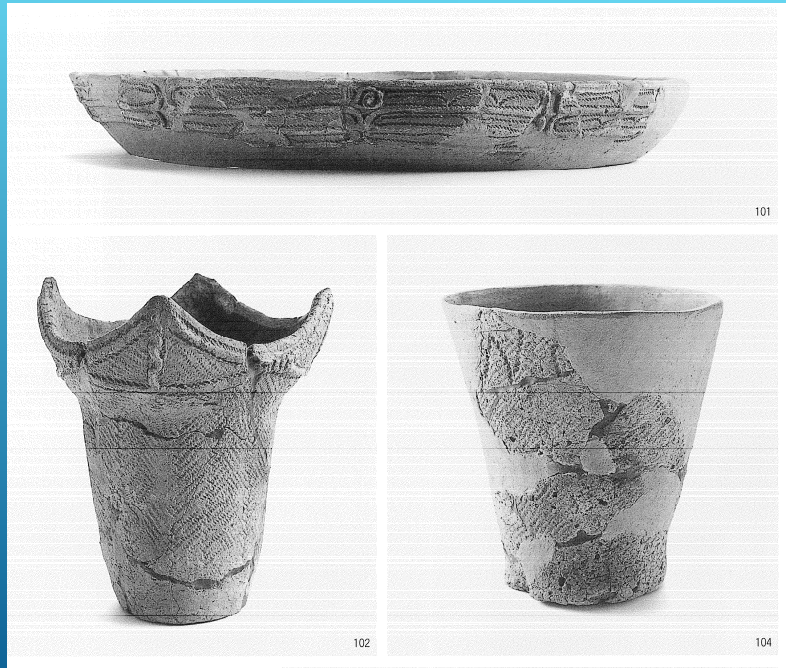
4単位の扇形突起を有する口縁部



大木7式土器

浅鉢の出現

関東の五領ヶ台式土器や、東北北部の円筒上層式土器の影響が強い



円筒上層式土器



五領ヶ台式土器



石川県 徳前C遺跡



552 深鉢 新保・新崎様式 石川県鹿島町徳前C遺跡出土



553 深鉢 新保・新崎様式 石川県鹿島町徳前C遺跡出土



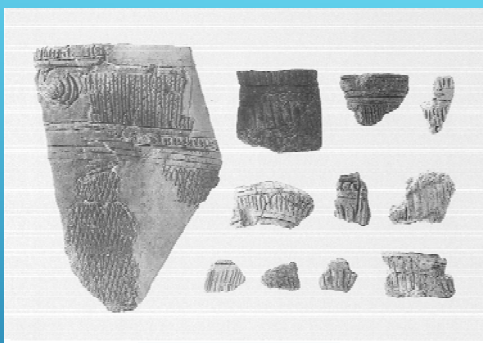
576 深鉢 新保・新崎様式 石川県鹿島町徳前C遺跡出土

石川県 真脇遺跡

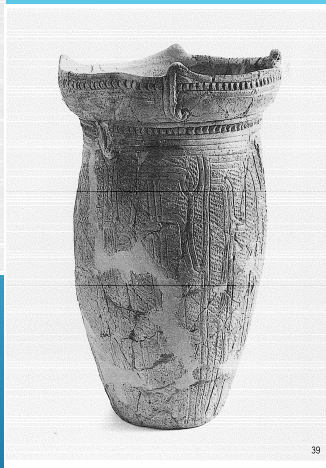


編年対応表

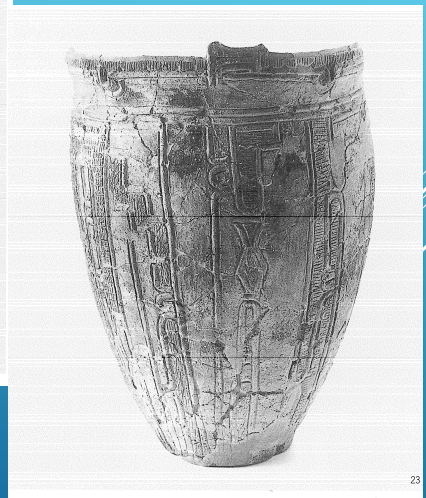
	石川県 徳前C遺跡	石川県 真脇遺跡	西向遺跡	東北地方南半	東北地方北半
前期	朝日下層式			大木6式	円筒下層d式
新保様式	新保式	新保・新崎様式	新保I式	大木7a式	円筒上層a式
	(新保後続・中平先行式)		新保II式		
新崎様式	中平式	新崎I式	新崎I式	大木7b式	円筒上層b式
	新崎I式				
	新崎II式	新崎II式	第4～6群		円筒上層c式



第1群土器A・B

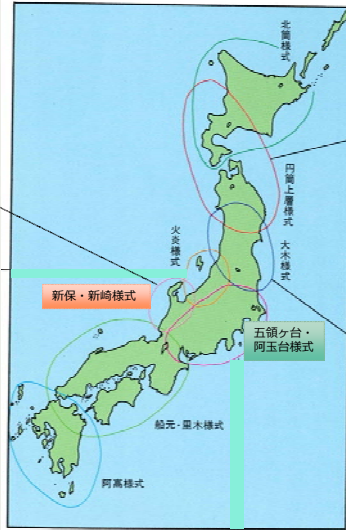


第2群土器



第3群土器

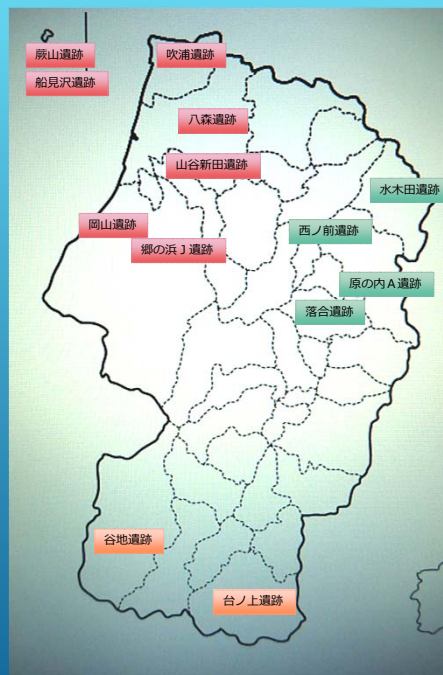
縄文時代中期の土器文化圏

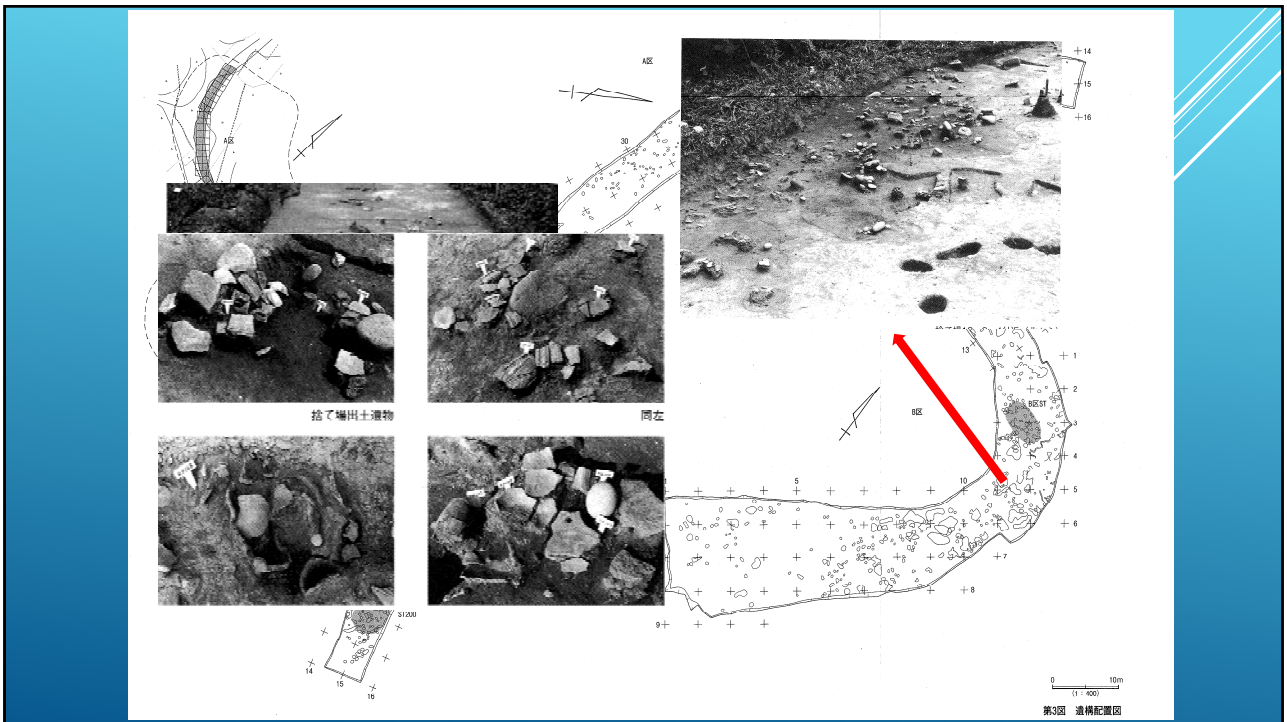
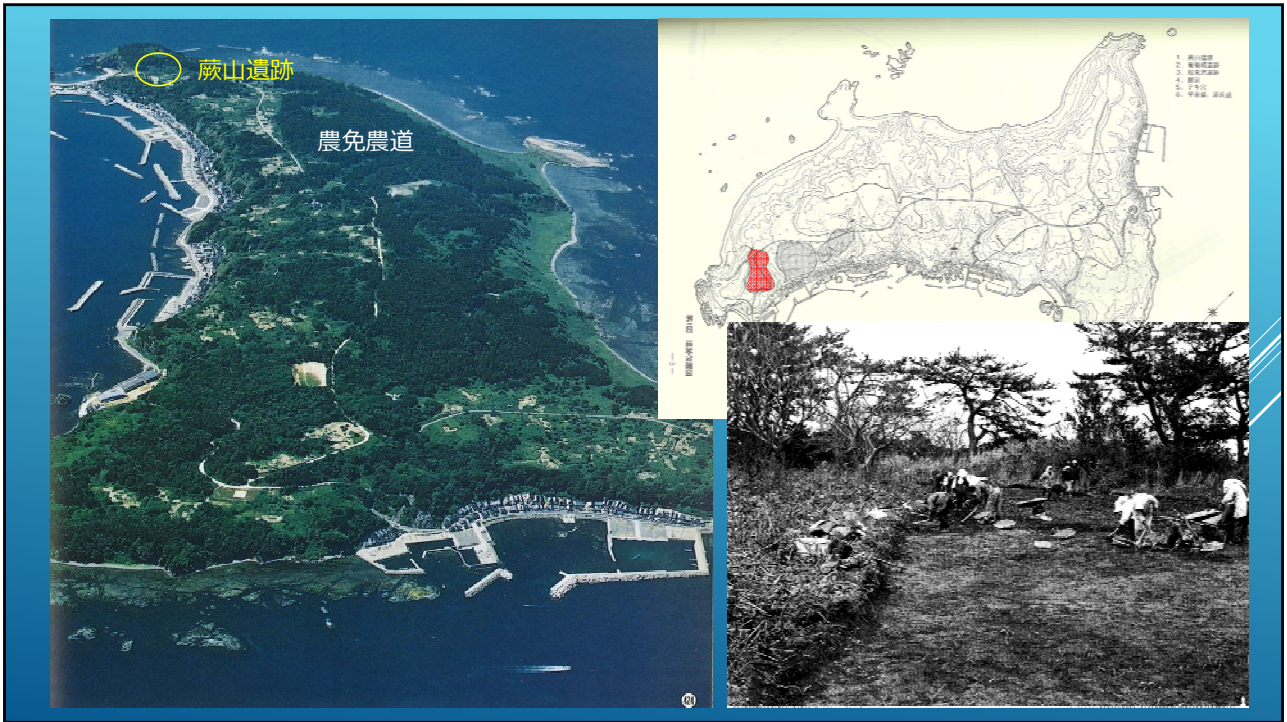


縄文時代中期の土器文化圏

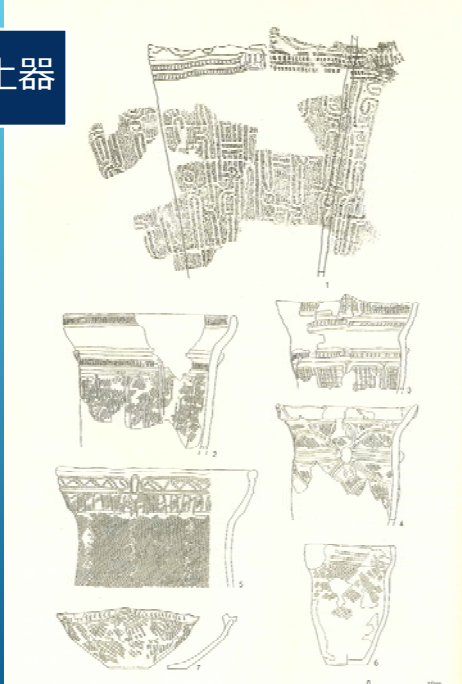


新保・新崎様式土器 出土遺跡分布図





蕨山遺跡出土土器



海獣（アシカカトド）の骨片

第3区 遺構配置図

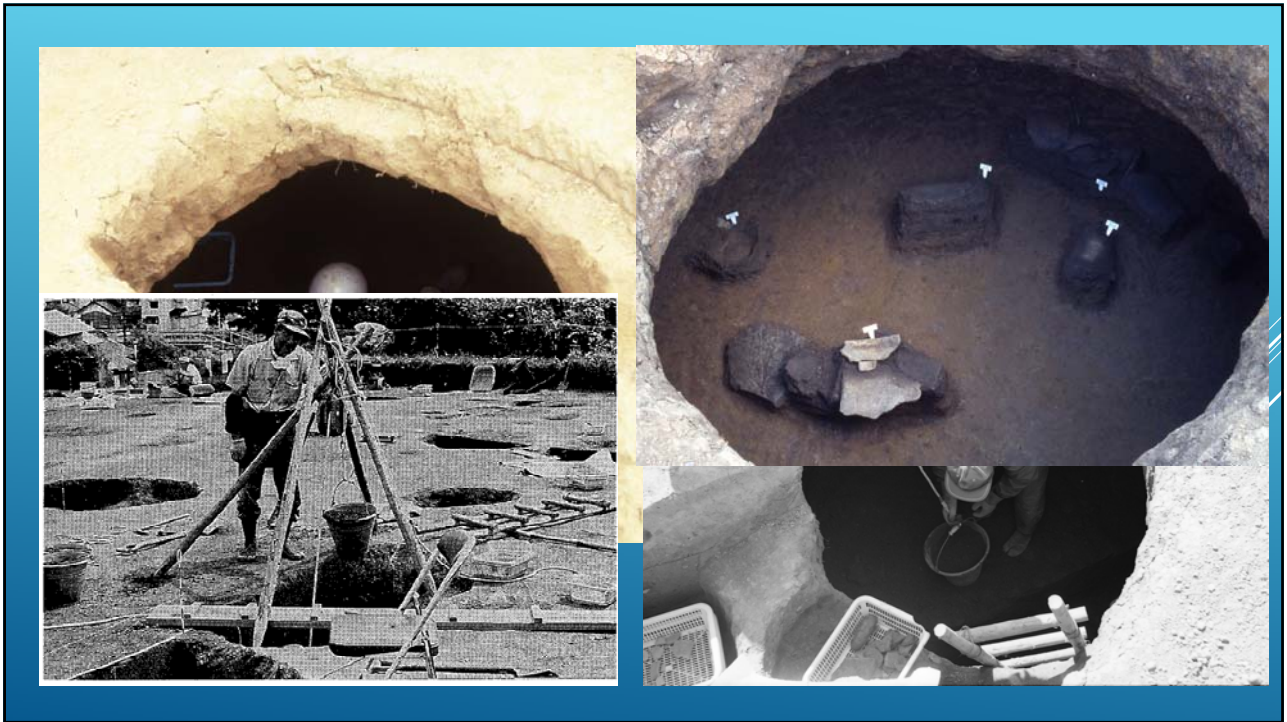
船見沢遺跡





吹浦遺跡





大木 6 式土器



大木 7 式土器



土器胎土分析

遺跡名	土器型式	カタラン石	前方輝石	単斜輝石	角閃石	酸化角閃石	ジルコン	サクロ石	緑レン石	不透明鉱物	その他
1	大木7式	0	7	0	0	0	1	0	6	10	161
2		0	111	90	0	1	0	0	0	6	42
3		0	3	2	0	0	0	0	0	140	105
4	葦山遺跡 円筒上層a式	0	2	0	13	0	3	0	0	190	42
5		0	72	20	1	0	4	0	0	58	95
6	新保・新崎式	2	81	59	1	2	0	0	0	23	82
7		6	69	87	1	0	0	0	0	35	52
8		0	21	3	7	1	3	1	0	61	153
9	大木6式	0	1	0	1	0	0	0	0	0	248
10		3	50	128	0	0	0	0	0	8	61
11	船見沢遺跡 円筒下層d式	0	6	0	1	0	1	0	0	0	242
12		0	47	31	4	0	0	0	0	46	122
13		0	96	40	53	3	1	1	0	23	33
14	朝日下層式	5	84	97	3	0	0	0	0	19	42
15		0	88	59	9	2	1	0	0	24	67
16	大木6式	0	1	0	0	0	1	0	0	3	245
17		0	42	8	55	8	0	0	0	22	115
18		0	36	3	4	1	0	1	0	35	170
19	吹浦遺跡 円筒下層d式	1	88	70	4	0	0	0	0	16	71
20		3	71	74	5	1	0	0	0	17	79
21		5	80	92	3	0	0	0	0	12	58
22	朝日下層式	4	76	99	1	0	0	0	0	15	55
23		5	70	99	2	0	0	0	0	9	65
24	葦山遺跡 事務所脇粘土	2	59	31	5	1	0	0	0	111	4
25		調査区内粘土	0	30	6	12	0	0	0	0	161

鳥海山の火山噴出物は、輝石を主要な斑晶とする

飛島の表層堆積物にも、輝石や角閃石が含まれる



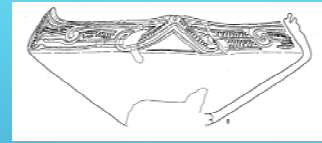
他系統の土器は地方から持ち込まれたものではなく、在地性である可能性が高い

野新田遺跡

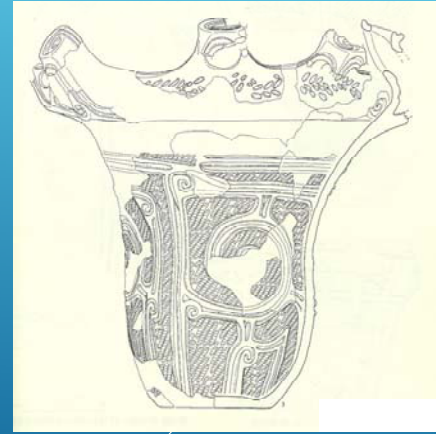
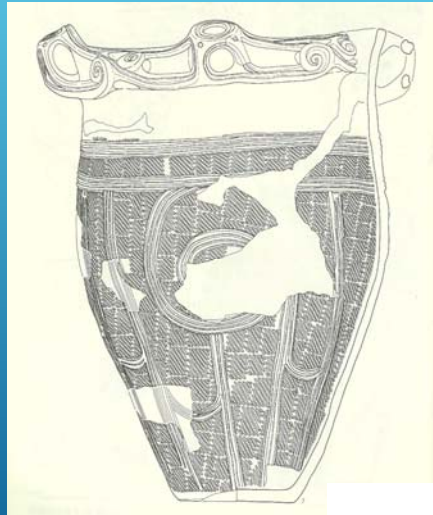




大木 8 b 式土器



大木 8 a 式土器



縄文時代中期前半の土器文化圏

中期前葉の大木式土器は、隣接諸地域からの影響を強く受けていた。

庄内地域では、日本海交流により北陸地方の影響が大きい。

「外来文化」の貫入を見る背景には、中期初頭段階では地域の主体性・独自性がいまだ確立されていなかった。

